

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	桐塾 荘原教室			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 22日 ~ 2025年 2月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	26名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 31日 ~ 2025年 2月 6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を必要としているお子さんに対して、その方に合わせた療育を展開することができる。	個別支援計画に則って、1対1の個別療育を行いながら、そのお子さんの成長発達に合わせた療育を展開している点。	今後も、左記の強みを生かしながら、多様な悩みを抱えるお子さんに対して、その時の状況に応じた療育を行っていきたい。そのためには、支援員一人ひとりのレベルアップが不可欠であり、支援員の意識向上と共に、専門性の向上にも努めたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	原則として週に一回の療育の実施であるため、お子さん一人に対し関わる時間が少ない。また、伸び盛りのお子さんに対しても、療育の回数を増やしていくことが容易ではないことが多い。	保護者の方からの回数増加の希望は、出来る限り受けていくようしているが、保護者と支援員との予定がかみ合わないことが多い。	早めの予定開示を心がけながら、先の予定を決められるようにする。
2	個別支援ということで、保護者間の交流に乏しい部分があり、ペアレントトレーニングの観点からも、他の保護者の方の意見を伺ったり、交流を望む声が出ている。	まとまった時間が取りにくい状況であることと、個人情報保護の観点もあり、どのような形態での開催が良いのか、結論が出ていない。前年度のアンケートでも、この点が指摘されていた。	今年度末に、保護者に向けての「報告会」の開催を予定している。また、普段の療育中に、管理者が出来る範囲で保護者の方々のお話を伺うようにしている。
3			